

2022年3月1日

各 位

株式会社エフピコ

DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

当社は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）との間で、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」）による融資契約を締結いたしました。

本ローンは、環境省が策定した「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（以下「環境省ガイドライン」）に基づき、貸付人である DBJ と対話を通じて当社のサステナビリティ経営の高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケータ（以下「KPIs」）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、持続可能な社会の促進を目的とした融資です。

当社は、4者一体の「エフピコ方式のリサイクル」を通じて、エコ製品の生産・販売に取り組んでおり、加えて色柄付き発泡ポリスチレン容器の再資源化を可能にするケミカルリサイクルの開発を進めていることから、以下2つの KPIs・SPTs を設定いたしました。

KPIs	SPTs
エコトレ販売重量	2025/3 期のエコトレ販売重量を 23,318t とする (2021/3 期実績比で約 12.5%増加)
ケミカルリサイクルプロジェクトの進捗	2025/3 期までにケミカルリサイクルの試験プラントを稼働させ、当社にてカラートレー由来の食品トレを生産する

当社グループは、引き続きエコ製品の販売をはじめ様々な取り組みを実行することで、持続可能な社会の構築に努めてまいります。

【内部レビューの実施について】

1. 内部レビューの選択

本ローンの実行に際し、サステナビリティ・リンク・ローン原則及び環境省ガイドラインへの適合性確認については、当社及び DBJ 間で協議し、内部レビューを選択するに至りました。

2. SPTs の概要

CO2 排出量削減に資するエコ製品の生産・販売およびケミカルリサイクルプロジェクトの進捗状況を測る指標を設定しています。

3. SPTs に関する内部専門性

当社は、簡易食品容器の製造・販売・リサイクルの事業を通じて、サステナビリティ経営を推進しています。

また、サステナビリティ経営の推進体制は、環境対策室が中心となり計数管理したうえで、トップマネジメントを巻き込んだ全社横断的な体制を構築しています。

※詳細は株式会社日本政策投資銀行 Web サイトにてご確認ください。

https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2021/html/20220301_203707.html

以上